

## 第6章 パテントマップ作成ソフトを利用した マッピング事例

- 6-1 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング紹介
- 6-2 経口薬の苦みマスキング技術
- 6-3 浴槽排水閥連技術
- 6-4 閲覧制限技術



## 第6章 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング事例

### 6-1 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング紹介

本章では、今回作成したマッピングソフトを利用したマッピング事例を紹介する。

事例で利用するテーマは、経口薬関連で薬を飲んだときの苦みをマスキングする技術、浴槽排水関連技術、ホームページの閲覧制限関連技術である。テーマ毎に、検索結果の特許出願件数推移グラフ表示、スコアリング処理、特許公報相互の引用・被引用関係マッピングを組み合わせて提示する。

### 6-2 経口薬の苦みマスキング技術

本節では、薬を飲む際の苦みマスキング技術のマッピングを行う。

ここでは、検索初心者の研究者を想定してテキスト検索から開始することとした。公報全文に「経口」が含まれる、公報全文に「苦み」「苦味」のいずれかあるいは双方が含まれる、公報全文に「マスキング」が含まれる、公報全文に「フレーバー」が含まれる特許公報、以上の要素を共通集合で検索すると 120 件が抽出された（図表 6-1）（図表 6-2）。

（図表 6-1）当時の検索

The screenshot shows the YUPASS patent search system interface. The search query is:

検索対象	すべて
全文	AND 経口
全文	OR 苦み 苦味
全文	AND マスキング
全文	AND フレーバー
出願日	_____ - _____

Below the search form, there are buttons for '全文検索' (Full Text Search), '詳細検索' (Advanced Search), and '引用文献検索' (Cited Reference Search). At the bottom, there is a footer with copyright information: '山口大学特許電子図書館について | お問い合わせ | © 2007 YAMAGUCHI UNIVERSITY, All rights reserved.'

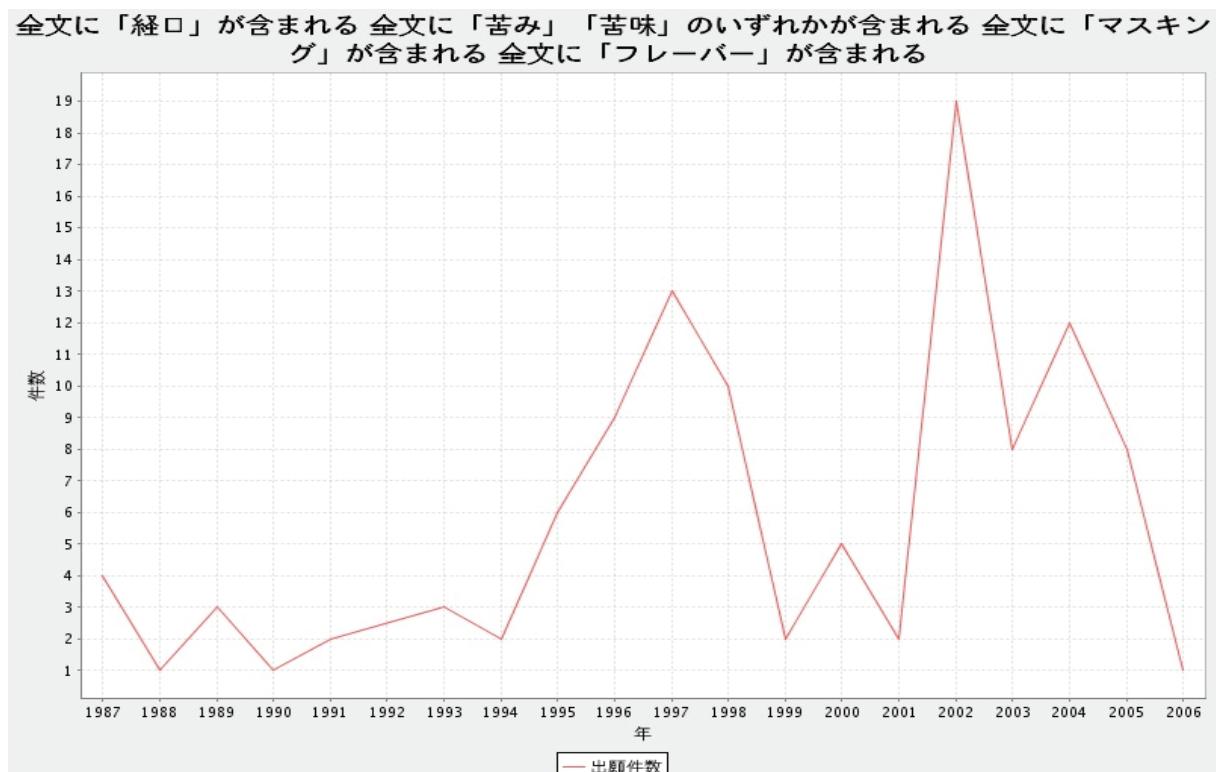
(図表 6-2) 当初の検索で抽出された 120 件の特許公報 (注) 1 頁目のみ表示した

The screenshot shows a Windows Internet Explorer window displaying the search results for the query "全文:(経口) AND 全文:(苦味 OR 苦味) AND 全文:(マスキング) AND 全文:(フレーバー)" resulting in 120 items. The results are listed in a table with columns for 文書番号 (Document Number), 名称 (Name), and 出願人 (Applicant). The table includes several entries, each with a detailed description of the patent's subject matter.

文書番号	名称	出願人
<a href="#">特開1998-167988</a>	経口液剤	武田薬品工業株式会社
要約	【課題】苦味成分を含有する経口液剤の風味の改善 【解決手段】苦味成分を含有する経口液剤にメープルフレーバー類を添加する。	
<a href="#">特開1993-017345</a>	経口摂取可能な活性成分のための非アルコール性供給系	スペクトラム コンシユーマー プロダクト カンパニー インコーポレイテッド
要約	【57】【要約】目的】溶解として供されている人が体内に有するアルコールを使用しないで、高濃度の活性成分を経口摂取供給系に含有させる。【構成】種類以上の界面活性剤と非水溶性の噴霧乾燥フレーバー油を含む添加物とを複合または顆粒に含有させる。界面活性剤は添加物に対する水の表面張力を低下させ、添加物を溶媒水中に分散可能とする。	
<a href="#">特開2005-053861</a>	固形状組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩を高濃度に含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩(B)炭酸塩又は重炭酸塩を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(重量比)が、(A):(B)=1:9~9:1である固形状組成物。 【選択図】なし	
<a href="#">特開2005-052111</a>	クロロゲン酸類含有組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩を高濃度含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩(B)カルシウム化合物を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(質量比)が、(A):(B)=1:10~5~1:22であるクロロゲン酸類含有組成物。 【選択図】なし	
<a href="#">特開2006-254791</a>	カゼイン加水分解物含有組成物	森永乳業株式会社 他1名
要約	【課題】苦味等の不快感が高層にマスキングされたカゼイン加水分解物含有組成物を提供する。 【解決手段】カゼイン加水分解物、シュガーフレーバー、及びグレープフルーツフレーバーを含有することを特徴とするカゼイン加水分解物含有組成物。	
<a href="#">特表2007-515950</a>	タバコ組成物	ユース スモーカレス タバコカンパニー
要約	本発明はタバコ組成物ならびにその使用および製造の方法を特徴とする。本発明の組成物はさまざまな技術に基づくことができる。技術としては、フィルム、綿剤、成形部、ゲル、消耗単位、不溶性マリックス、および中空形状が挙げられる。タバコに加えて、組成物は、フレーバー、色、および本明細書に記述されるよる他の添加物を含んでもよい。組成物は、経口的に崩壊可能であつてよい。例示的な組成物およびその製造の方法が本明細書に記述される。	

次に、この 120 件の経年別出願件数をマッピングする (図表 6-3)。

(図表 6-3) 当初検索で抽出された 120 件の経年別出願件数推移



図表 6-3 を見ると、本テーマで検索した特許出願数推移には二つのピークがあり、各々 1997 年に 13 件、2002 年に 19 件となっている。そこで、1997 年を例に、出願された 13 件を調べると「三栄源エフ・エフ・アイ株式会社」が、スクラロースという甘味料、化学式  $C_{12}H_{19}Cl_3O_8$  に関する出願を集中的に出願していることがわかる（図表 6-4）。

(図表 6-4) 当初検索で抽出された 120 件で 1997 年の特許出願

文書番号	名称	出願人
<a href="#">特開1999-106354</a>	葉物の苦味の隠蔽経口剤	エーザイ株式会社
<a href="#">要約</a>	(57)【要約】苦味のある薬物の苦味隠蔽剤を提供する。 【解決手段】苦味のある薬物に無水ケイ酸を配合して成る、苦味隠蔽剤である。	エーザイ株式会社
<a href="#">特許3770515</a>	葉物の苦味の隠蔽経口剤	エーザイ株式会社
<a href="#">特許請求の範囲</a>	不快な味を有する薬物、および薬物1重量部に対して25～70重量部の無水ケイ酸を配合した液剤、ペースト剤、ゼリー剤、シロップ剤、エリキシル剤または乳剤である経口剤。不快な味を有する薬物に、薬物1重量部に対して25～70重量部の無水ケイ酸を配合し、液剤、ペースト剤、ゼリー剤、シロップ剤、エリキシル剤または乳剤とする薬物の不快味の隠蔽方法。	エーザイ株式会社
<a href="#">特開1999-018723</a>	高エネルギー グル状栄養組成物	明治乳業株式会社
<a href="#">要約</a>	(57)【要約】 【解決手段】1g当たり1.8～2.5mgに調製され、たん白質のエネルギー比率が10～25%、脂質のエネルギー比率が20～30%であり、且つ各ビタミンを下記の割合で含有すること、を特徴とする高エネルギー グル状栄養組成物。ビタミンA150～300IU/100kcalビタミンD15～25IU/100kcalビタミンC10～20mg/100kcalビタミンE1.0～2.0mg/100kcalビタミンB1.0～2.0mg/100kcalビタミンB2.0～1.0～2.0mg/100kcalナイアシン1.0～3.0mg/100kcal【効果】感覚障害、そのリバビリ患者との他、感覚能力が低下した人に特に好適な栄養組成物が提供される。	明治乳業株式会社
<a href="#">特許3132652</a>	高エネルギー グル状栄養組成物	明治乳業株式会社
<a href="#">特許請求の範囲</a>	(57)【要約】1g当たり1.8～2.5kgに調製され、たん白質のエネルギー比率が10～25%、脂質のエネルギー比率が20～30%であり且つ各ビタミンを下記の割合で含有してない、ゲル強度が1×10 <sup>4</sup> ～1×10 <sup>5</sup> dyn/cm <sup>2</sup> の範囲であり、水分を45～70%含有し、その水の状態は水素核磁気共鳴法による水のスピニースピニ緩和時間T <sub>1</sub> が10～80msであること、を特徴とする感覚障害者、そのリバビリ患者用の経口高エネルギー グル状栄養組成物。ビタミンA150～300IU/100kcalビタミンD15～25IU/100kcalビタミンC10～20mg/100kcalビタミンB1.0～2.0mg/100kcalビタミンB2.0～1.0～2.0mg/100kcal	明治乳業株式会社
<a href="#">特開1998-262601</a>	渋味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
<a href="#">要約</a>	(57)【要約】【課題】製品本来の味のバランスを保持し、さらに長期安定性、熱安定性をこすり付けて渋味のマスキング効果をより一層発揮し、マスキングされた後の渋味自体の風味を良質なものにすることを課題とする。 【解決手段】渋味を呈する製品に、スクラロースを添加する渋味のマスキング方法。	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
<a href="#">特開1998-248501</a>	渋味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
<a href="#">要約</a>	(57)【要約】 【解決手段】渋味を呈する製品に、1又は2種以上の高甘味度甘味剤を甘の閾値以下の量で用いることを特徴とする渋味のマスキング方法。【効果】渋味を呈する各種の最終製品における過剰な渋味を、特別な工程/処理を追加することなく減少又は緩和することができます。	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
<a href="#">特許3938968</a>	渋味のマスキング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
<a href="#">特許請求の範囲</a>	茶、紅茶及びコーヒーから選択される渋味を呈する飲料に、スクラロースを、該飲料の0.007～0.003重量%用いてこれを特徴とする渋味のマスキング方法。	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社

山口大学特許検索システムYUPASS Ver.3beta	
http://www.yupass.jp/v3/Search.do?action=multi&t=0&f1=contents&l1=0&t1=KB7%D0%BF%D&f2=contents&l2=1&t2=KB6%EC%A4%DF+KB6%EC%CCK%A3&l3=	
ファイル(F)	編集(E)
☆	お気に入り(A)
ツール(T)	ヘルプ(H)
Google	ページ(P)
ツール(O)	ヘルプ(H)
<a href="#">特開1998-243776</a>	酸味のマスキング方法
要約	(57)【要約】[目的]製品本体の味のバランスを保持し、さらに長期安定性、熱安定性にすぐれた酸味をコントロールする方法で発揮し、マスキングされた後の酸味自体の風味を良質なものにすることを目的とする。 【解決手段】酸味を呈する製品に、スクラロースを添加する酸味のマスキング方法。
<a href="#">特許3929101</a>	酸味のマスキング方法
特許請求の範囲	酸味を呈する製品に、スクラロースを、該製品の重量に対して0.012～0.015重量%で用いて、酸味のマスキング方法。
<a href="#">特開1998-215793</a>	酸味のマスキング方法
要約	(57)【要約】酸味本品とする製品に、1又は2種以上の高甘味度甘味剤を甘味の閾値以下の量で用いることを特徴とする酸味のマスキング方法が提供される。【効果】本発明によれば、酸味を呈する各種の最終製品における過剰な酸味を減少又は緩和することができる。さらには、酸による様々な効果を保持しながら、製品の味覚を改善することができる。したがって、本発明は、通常より少ない量の高甘味度甘味剤を用いて、簡便に酸味の減少、緩和が必定的であり、適用可能なものである。
<a href="#">特許3916281</a>	酸味のマスキング方法
特許請求の範囲	醸造酢及び/又はリンゴ酢を含有する製品、又はコーヒーエキスを含有する製品に、スクラロースを0.0001～0.0042重量%の量で添加することを特徴とする酸味のマスキング方法。 ケン酸を水溶液濃度で0.1～0.3%含有する製品に、スクラロースを0.0000075～0.003重量%の量で添加することを特徴とするケン酸含有製品の酸味のマスキング方法。
<a href="#">特開1998-203971</a>	水性経口液剤
要約	(57)【要約】[課題]医薬成分および各種製剤添加物が配合された製剤であってもフェニルプロパノールアミンの安定性が損なわれることのない水性経口液剤 【解決手段】キシトリール、マルチトール、マンニトールおよびエリスリトールから選択された1種または2種以上を配合した安定なフェニルプロパノールアミンまたはその塩含有水性経口液剤。
<a href="#">特開1998-167988</a>	経口液剤
要約	(57)【要約】[課題]苦味成分を含有する経口液剤の風味の改善 【解決手段】苦味成分を含有する経口液剤にメルブレーバー類を添加する。

次にスコアリング処理によるマッピングを行う。公報全文に「経口」が含まれるものと一緒に、公報全文に「苦味」「苦味」のいずれかあるいは双方が含まれるものと一緒に、公報全文に「マスキング」が含まれるものと一緒に、そして公報全文に「フレーバー」が含まれるものと一緒に十倍として重み付け検索を行った（図表6-5）。

（図表6-5）検索語句で「フレーバー」のみを十倍の比重でスコアリング

The screenshot shows the Yamaguchi University Patent Search System (YUPASS) interface. The search query is set to AND経口 AND苦味 ANDマスキング ANDフレーバー \*10. A large red circle highlights the term 'フレーバー' and its multiplier '10'. Below the search bar, a thought bubble contains the text '「フレーバー」のみ十倍 の重み付け' (Weighting of 'フレーバー' only multiplied by 10).

スコアリングによるマッピング結果を図表6-6で表示する。ここで最上位に表示された公開特許公報平成10-167988号に絞り、次頁以降で引用関係マッピングを行うこととする。

（図表6-6）「フレーバー」のみ十倍でスコアリングした結果（注）1頁目のみ表示した

文書番号	名称	出願人
○特開1998-167988	経口液剤	武田薬品工業株式会社
要約	【課題】苦味成分を含有する経口液剤の風味の改善 【解決手段】苦味成分を含有する経口液剤にメープルフレーバー味を添加する。	
○特開1993-017345	経口摂取可能な活性成分のための非アルコール性供給系	スペクトラム コンシューマー プロダクト カンパニー インコーポレイテッド
要約	【課題】【目的】本溶媒で優れている人が多く有害であるアルコールを使用しないで、高濃度の活性成分を経口摂取供給系に含有させる。【構成】種類以上の界面活性剤、非水溶性の噴霧用油フレーバー油を含む添加物と選別または難溶に含有させる。界面活性剤は添加物に対する水の表面張力を低下させ、添加物を選別水中に分散可能とする。	
○特開2005-053861	固形状組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩や高濃度に含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩(B)炭酸塩又は重炭酸塩を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(重量比)が、(A):(B)=1:9~9:1である固形状組成物。 【選択項】なし	
○特開2005-052111	クロロゲン酸類含有組成物	花王株式会社
要約	【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩や高濃度に含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】次の成分(A)及び(B)、(A)クロロゲン酸、クロロゲン酸類縁体又はそれらの塩(B)カルシウム化合物を含有し、成分(A)と成分(B)の含有比率(質量比)が、(A):(B)=1:0.5~1:22であるクロロゲン酸類含有組成物。 【選択項】なし	
○特開2006-254791	カゼイン加水分解物含有組成物	森永乳業株式会社 他1名
要約	【課題】苦味等の不快感が高濃度でマスキングされたカゼイン加水分解物含有組成物を提供する。 【解決手段】カゼイン加水分解物、ショガフレーバー、及びグレープフルーツフレーバーを含むことを特徴とするカゼイン加水分解物含有組成物。 【選択項】なし	
○特表2007-515950	タバコ組成物	ユース スモーカレス タバコカンパニー
要約	本発明はタバコ組成物ならびにその使用および製造の方法を特徴とする。本発明の組成物はさまざまな材料を基本とすることができる。技術としては、フィルム、錠剤、成型部、ゲル、膏等の単位、不溶性マトリックス、および中空形状が挙げられる。タバコに加えて、組成物は、フレーバー、油、および本明細書に記述されるよろづて他の添加物を含んでもよい。組成物は、絶対的に崩壊可能であってもよい。例示的組成物およびその製造の方法が本明細書に記述される。	
○特表2006-504620	快い味の経口懸濁液および方法	プリストル－マイヤーズ スクイブ カンパニー 他1名
要約	水と混合したときに著しい快い味の経口懸濁液を形成する乾燥粉末状の製剤で、乾燥粉末中に溶解中苦味を有する薬物、好ましくはデフューカー油ヒート・アルギニンのようになります。(A)アルギニン性物質であるpH調節剤から形成され、;(B)水と乾燥粉末を混合すると該調節剤の溶解度を減少する。(C)ドライカットして充填して、本質的に苦味のない快い味の経口懸濁液を形成させる製剤が提供される。経口懸濁液、これらのマスキング方法およびまたはそれ以上のpH調節剤を用いた薬物の苦味をマスキングする方法も提供される。	
○特開2003-171311	内服液剤組成物、それを含む内服液剤	ライオン株式会社
要約	【課題】高濃度の糖類を含有し、味の良い内服液剤組成物において、糖の析出を防止した内服液剤組成物、及び、該内服液剤組成物を含み、キャップ開閉部等における固結化を防止した内服液剤組成物の提供。 【解決手段】ヨ糖、果糖、キシリトール、粉末還元糖水アメ、及び、エリスリトールから選ばれる少なくとも1種以上の糖類を10～85wt% (g/100ml)と、グリセリンと、を含有することを特徴とする内服液剤組成物である。pHが、3～6.5である様等が好ましい。また樹脂製キャップを有する容器内に、内服液剤組成物を含む内服液剤品であって、該内服液剤組成物が、前記内服液剤組成物である内服液剤品である。	
○特開1995-163295	チョコレート	不二製油株式会社
要約	【課題】【目的】ペプチドの苦味を殆ど感じることなく喫食することのできる、新規なペプチド入りチョコレートを提供すること目的とする。【構成】必須の成分としてペプチドとカオニンの破碎粒状物を含む、チョコレート、【効果】チョコレート生地中にカオニンの破碎粒状物を混在させることにより適度な歯応えと好ましい香ばしさを付与させ、これによって從来よりも水分解され、より苦味の占める割合が減る。安息香酸の一部が削除されたペプチド不容易化によって、これが苦味によくなつた。	

公開特許公報平成 10-167988 号で引用されている特許公報のマッピング（図表 6-7）。

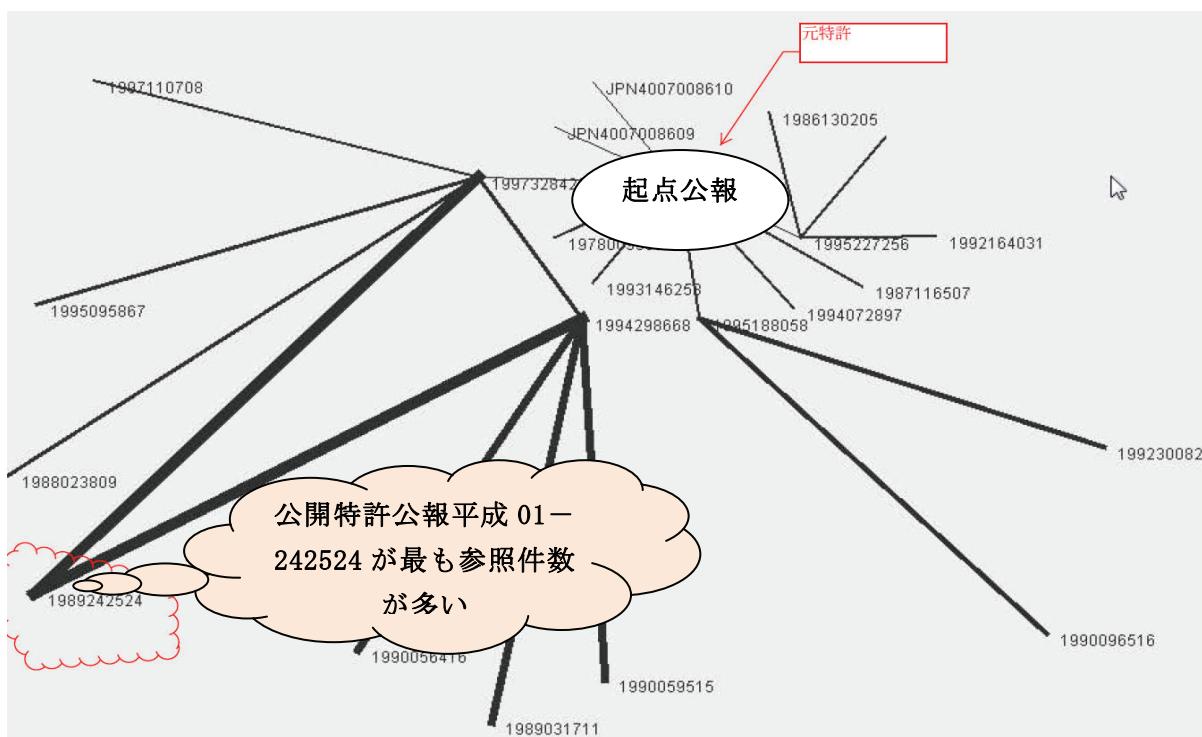
（図表 6-7）公開特許公報平成 10-167988 号の引用関係

The screenshot shows the Yamaguchi University Patent Search System (YUPASS) interface. At the top, a search bar displays the URL [http://133.62.195.62/v4/cdcm/pat=1&add=%E6%96%AC%E5%8A%A1%E6%BC%A8&pub\\_num=1998167988](http://133.62.195.62/v4/cdcm/pat=1&add=%E6%96%AC%E5%8A%A1%E6%BC%A8&pub_num=1998167988). Below the header, there's a navigation menu with links like '特許情報検索' (Patent Information Search), 'お知らせ' (Announcements), '収録データについて' (About Recorded Data), 'ご利用方法' (Usage Method), and 'よくあるご質問' (Frequently Asked Questions). A search input field contains the identifier 't-kimura'. The main content area shows the results for Patent No. 10-167988, which has been cited 1 time. The results are categorized into '元文献' (Original Document) and '引用文献' (Cited Documents). The '元文献' section shows the patent itself. The '引用文献' section lists 22 other patents that cite this one, with their names, publication numbers, and citation counts. For example, Patent No. 01-242524 is cited 5 times, and Patent No. 01-031711 is cited 2 times. A download button labeled 'ダウンロード' is available at the bottom of the results page.

上記のマッピングを参考に、リスト中で被引用回数が多い特許公報の被引用関係を更に調査すると効率的な研究が可能である。

次頁に、これらの引用関係を特許群で検討する（図表 6-8）。

(図表 6-8) 公開特許公報平成 10-167988 号の引用関係特許群



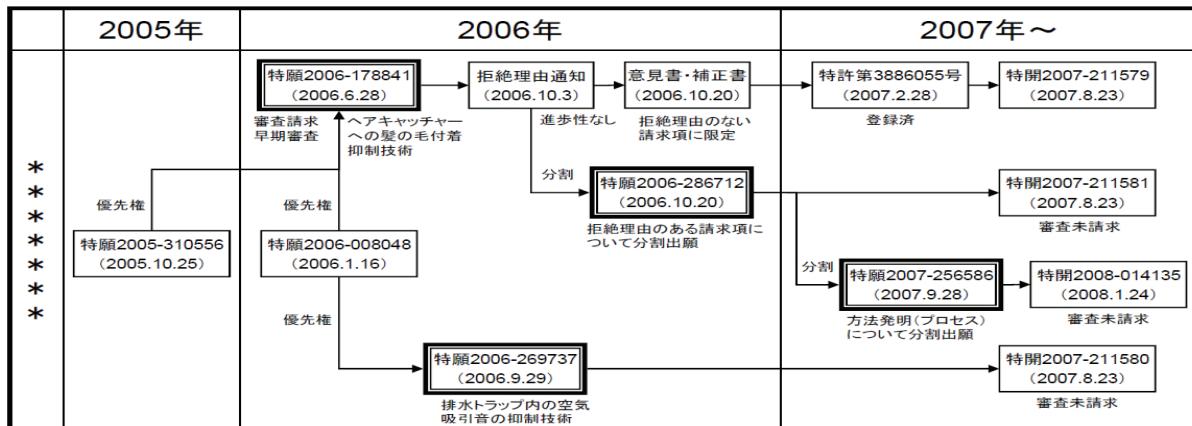
最も参照件数（被引用件数）が多い公報は、公開特許公報平成 01-242524 で発明の名称は「シロップ剤」である。出願日は 1988 年 3 月 22 日、この時点でシメチジン等の経口投与時に苦味をマスキングする技術としてグリチルリチン酸またはその塩と甘味料を適切な比率で加えるシロップ剤を調整する技術が開示されていることになる。

## 6-3 浴槽排水関連技術

本節では、前節と同様の手法を利用して、浴槽配水関連技術マッピングを行う。

引用・被引用関係の起点となる公報は、あらかじめテキスト検索で絞り込んだ公開特許公報 2007-211579 号を利用する。この出願の一部は特許第 3886055 号として登録されている。

(図表 6-9) 公開特許公報 2007-211579 号の出願経緯



本出願では、特許第 3886055 号として登録された後に公開特許公報 2007-211579 号が発行されているため、別途、山口大学の学生が手作業で作成した公開特許公報 2007-211579 号の出願経緯図を参考資料として示した（図表 6-9）。

次に、図表 6-10-1 から図表 6-10-5 で本公開公報の引用関係マッピングを表示する。

(図表 6-10-1) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係



(図表 6-10-2) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

山口大学特許検索システムYUPASS Ver.4 alpha - Windows Internet Explorer			
特開2000-001888	浴室ユニットの排水構造	4	2
特開平09-195348	浴室	4	4
特開2005-060942	排水トラップ	4	3
特開平10-176355	浴室ユニットの床パン	4	2
実全昭59-102669		4	2
特開2004-036144	排水トラップ	4	2
実公昭48-042746		4	2
実開平05-040377	排水トラップ機構付きの防水パン	3	2
実開平06-087478	浴室ユニットにおける排水装置	3	2
特開平08-296264	防水パン構造	3	2
実全昭56-025774		3	2
実全平03-013373	排水トラップ	3	2
実全昭63-151572	排水装置	3	2
特開2001-098603	排水トラップ	3	3
特開平09-088143	床パン	3	5
実全平01-105583	浴室	3	5
実全昭49-005261		3	5
特開2004-225243	接続構造	2	1
特開平02-058644	浴室装置	2	2
特開2005-180077	浴室用封水筒型排水トラップ装置	2	1
実全昭62-031177	豎型排水トラップ	2	1
特開2000-179021	床防水パンおよびこの床防水パンへの浴槽の設置構造	2	1
実公昭49-007331		2	1
特開2004-278013	浴室の配管構造及びそれに用いられる排水トラップ	2	1
実開平06-035368	浴室の防水床パン	2	1
特開平11-181854	排水トラップ。	2	3
実全昭63-031181	排水管悪臭防止具	2	3
特開平11-043976	排水トラップ	2	1
実全昭59-056277		2	1
実公平06-033020	浴室ユニットの浴槽排水構造	2	1

(図表 6-10-3) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

山口大学特許検索システムYUPASS Ver.4 alpha - Windows Internet Explorer			
特開平09-025655	排水接続装置およびその方法	2	2
実全平 04-070371	防水床パン	2	2
実開平05-022663	配管用ジョイント	2	2
特開2004-278090	浴室の排水トラップ	2	1
特開平07-180197	オーバーフロー排水複合金具	2	1
実公昭61-036612		2	1
実全昭57-058377		2	1
特開平07-026608	浴室の排水構造	2	6
実全昭49-115946		2	6
特開平08-239883	封水装置	2	2
特開平08-049273	排水口用簡易フィルター	2	3
実公昭61-015104		2	3
特開2004-068328	浴室の排水ユニット	2	1
実全平 04-054389	管継手用防錆コア	2	1
WO95020072		2	1
実全昭57-133391		2	1
特開平07-216949	排水部の構造	2	1
実開平05-073068	排水トラップ	2	1
特許2995530	排水トラップおよび排水トラップを備える床排水構造	2	1
特開平09-209430	濾過シート	2	2
特開平08-270034	ユニットバスの排水構造	2	2
特開2005-009250	排水トラップ	2	1
特開2001-140318	排水トラップ	2	1
特開平10-008522	排水トラップ	2	3
実公2587039		2	3
実全昭57-128664		2	3
特開2000-319965	浴室ユニットの排水構造	2	1
特公昭53-023538		2	1
実公昭50-045830		2	1
特開2000-291097	浴室ユニットの排水構造	2	2

(図表 6-10-4) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

検索結果	特許番号	特許名	引用数	出典
実公平	04-007259	排水トラップ	2	
特開2002-054205		浴室	2	
実開平	04-108661	浴室ユニットにおける排水構造	2	
特開2003-313914		排水トラップ	2	
実全昭54-069653			2	
実全昭63-161964			2	
実全昭52-088261			2	
実全昭59-031670			2	
実開平	04-134580	設備ユニットの排水構造	2	
実公昭48-031545			2	
特開2005-314997		排水トラップ	2	
特開2004-044318		排水装置	2	
実公昭60-027190			2	
特開2001-107412		ユニットバスの排水装置	2	
特開2001-149256		洗い場付浴槽の構造	2	
特開2001-152508		排水トラップ	2	
特開平10-176357		浴室ユニットの床パン	2	
特開2005-146795		浴室ユニットの排水装置	2	
特開平06-306907		排水トラップの製造方法	2	
特開2003-336302		排水装置	2	
特開2002-115298		ユニットバスの排水トラップ	2	
特開平05-148878		床排水トラップ	2	
特開2005-009161		排水トラップ	2	
特開昭62-215737		臭気トラップ	2	
特開2005-009160		排水トラップ	2	
実全昭63-157385		防水パン	1	
実公平06-008783		防水パン	1	
実全平01-042369		洗たく排水誘導路を有する排水管用防臭装置	1	
実公昭50-015410			1	
実全平	04-061239	空調ダクトの接続部構造	1	

(図表 6-10-5) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

検索結果	特許番号	特許名	引用数	出典
特開平07-279210		排水トラップ	1	
実全昭50-151562			1	
実全昭61-152074		ユニットバスルーム用防水パン	1	
特開2000-303528		浴槽排水装置	1	
特開平01-121421		床パン	1	
実公昭54-011433			1	
実公平07-026458		ユニットバスルーム	1	
特開昭59-166791		ホース接手	1	
実全平01-150668		浴槽の排水口取合構造	1	
実全平03-119071		浴槽の排水装置	1	
実全昭63-050964		浴槽の低位設置可能な浴室パン	1	
実全平	04-066491	ホース接続具	1	
特開2003-056036		低床浴室用の排水トラップ及び浴室ユニット	1	
実開平06-057972		防水パン	1	
実公2527337			1	
特開平09-268626		排水トラップ	1	
実全昭63-065776		排水トラップ	1	
特開平07-279208		排水トラップ	1	
実公昭51-034621			1	
特開2000-080695		排水トラップ	1	
実全平	04-041572	流しの排水トラップと排水ホースの接続構造	1	

この結果を保存するには右のダウンロードボタンを押してください。[ダウンロード]

[全文検索] [詳細検索] [詳細検索(重みづけ)]

前頁までの公開特許公報 2007-211579 号引用関係マッピングで、最も被引用数が多い公開特許公報平成 03-260230 号について過去方向に引用関係を調べると引用文献は存在しなかつた。従って、本出願が重要特許・基本特許である可能性が高いと思われる。

(図表 6-11) 公開特許公報平成 03-260230 号の引用関係

出願番号	公開番号	被引用回数	名称	出願人
特願平02-058281	特開平03-260230	9	ユニットバスの排水装置	松下電器産業株式会社

公開番号	名称	引用回数	被引用回数
		1	

この結果を保存するには右のダウンロードボタンを押してください。[ダウンロード]

[全文検索](#) [詳細検索](#) [詳細検索\(重みづけ\)](#)

山口大学特許電子図書館について | [お問い合わせ](#) |  
© 2007 YAMAGUCHI UNIVERSITY. All rights reserved.

(図表 6-12) 公開特許公報平成 03-260230 号の被引用関係

出願番号	公開番号	被引用回数	名称	出願人
特願平02-058281	特開平03-260230	9	ユニットバスの排水装置	松下電器産業株式会社

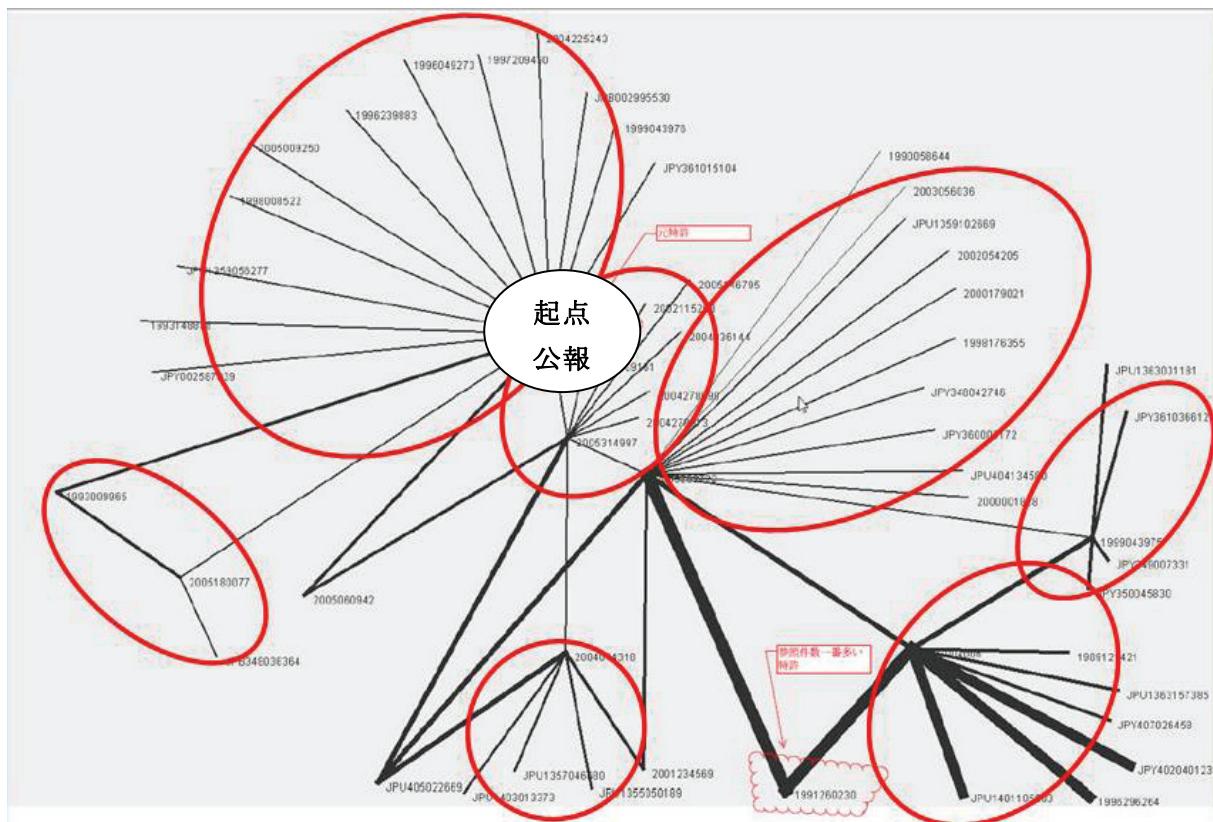
\*現在表示されるのは特許公報のみです。

公開番号	被引用回数	名称	出願人
特開2002-088856	1	浴室の床排水目皿	株式会社INAX
特開平10-176358	1	浴室ユニットの床パン	東陽機器株式会社
特開平10-317450	0	ユニットバスの防水パン	株式会社INAX
特開平11-071795	1	分割タイプの防水床パン	東陽機器株式会社
特開2001-146778	1	ユニットバスの排水構造	株式会社INAX
特開平10-176357	1	浴室ユニットの床パン	東陽機器株式会社
特開平09-004006	3	浴室ユニットの床パン	東陽機器株式会社
特開2004-068328	1	浴室の排水ユニット	株式会社ノーリツ
特開2003-253722	4	浴室ユニットの排水構造	株式会社ノーリツ

この結果を保存するには右のダウンロードボタンを押してください。[ダウンロード]

念のために、同公開特許公報の被引用関係マッピングを図表 6-12 に示した・

(図表 6-13) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係特許群



前節の苦味マスキングの特許群表示と同じく、一定のグルーピング化が成立していることがわかる。

## 6-4 閲覧制限技術

本節では、閲覧制限技術のマッピングを行う。引用・被引用関係の起点となる公報は、あらかじめテキスト検索で絞り込んだ公開特許公報 2002-116972 号を利用する。出願日は 2000 年 10 月 11 日、発明の名称は「情報閲覧方法及びシステム並びに情報閲覧用プログラムを記憶した記憶媒体」である。

(図表 6-14) 公開特許公報 2002-116972 号の被引用関係

The screenshot shows the YUPASS Ver.4 alpha patent search interface. At the top, a search bar displays '公開番号' (Publication Number) '2002116972' and a '検索' (Search) button. Below the search bar, there are two radio buttons: '引用文献' (Cited References) and '被引用文献' (Citing References). The '被引用文献' button is selected.

**元文献 (Original Document)**

出願番号	公開番号	被引用回数	名称	出願人
特願2000-310134	特開2002-116972	1	情報閲覧方法及びシステム並びに情報閲覧用プログラムを記憶した記憶媒体	日本電気株式会社

**引用文献 (Citing References)**

公開番号	名称	引用回数	被引用回数
特開平09-231146	電子情報伝送方法	2	2
WO96037989		2	2
特開平11-306111	メッセージ集配信システム	2	5
特開平11-203216	電子メールシステム	2	6
特開平05-216930	電子メールシステムにおける検索方式	2	5
特開平11-205380	TCP/IP通信構成装置	1	4
特開平11-025015	ハイパーテキスト送信方法及びハイパーテキスト送信サーバ装置	1	3
特開平06-309128	ユーザが選択したフォントによってグラフィカル・ユーザ・インターフェースを調節する方法及びシステム	1	3
特開2000-222323	インターネットによるウェブフィルタリングシステム	1	4
特開平03-244030	日付時刻情報をもとに端末ソフトウェアを自動更新する可搬式端末ネットワークシステム	1	8
特開平11-015620	表示様式変更システム及び表示様式変更方法	1	2
特開2000-047927	URLフルターリングシステム	1	2
特開昭60-144791	表示器の画面展開方式	1	0
特開平10-083378	ホストコンピュータと端末装置間の接続方法およびそのためのホストコンピュータならびに記録媒体	1	1
特開平03-233670	テキストデータ変換方式	1	8
特開平10-313339	メール送受信方式	1	1
特開平10-275157	データベース構造	1	1
特開平11-015840	情報提示支援方法、情報提示支援システム、記録媒体	1	13
特開昭60-144791	情報検索装置	1	0

A red arrow points from the bottom of the main table to a smaller screenshot of the same page, indicating a zoomed-in view of the row for Patent No. 11-015840.

**前節までと同様に、被引用件数の最も多い公開特許公報平成 11-015840 の引用を調査する。ここからの引用がないので、公開特許公報平成 11-015840 が重要特許・基本特許の可能性がある。**